

国有林のPRと職場の 活性化の取り組み (95)

鷹巣署・総務課 松沢 正司

はじめに

鷹巣町は、大館、北秋田地方のほぼ中央部に位置し、政治、経済、文化の中心的な役割を果たしております。

当鷹巣営林署は、近くに役場、公民館等を抱え、それらの公共施設には、町内外から訪れる人も多く、当署の存在については、従来より認識されて来たところでもあります。

最近の国有林や林業を取り巻く状況は、誠に厳しいものがあります。私達林業マンは、これらの厳しいハードルを一つ一つクリアーし、国民に親しまれる営林署、地域に根ざした営林署を目指し、努力しなければなりません。

取り組み

当署は、年度初めに職員一人一人の発想の転換と、参加意識を高め、そして職場の活力を図るため「アイデアカード」を取り入れ、更には推進委員会を機能し、署の計画と併せてアイデアを活かし、知恵を出し合い、工夫を凝らし、そして少ない予算を効率的に使用し、PRの効果を上げております。

そのためには、マスコミへの対応を大切にと、地元新聞社には迅速に情報を流すことにしております。

以下順を追って取組を説明致します。

1. クリスマスツリーの飾り付け展示とプレゼント

日頃殺風景な庁舎に明るさを、との発想のもとに、庁舎敷地内の被圧されていたアオモリトドマツを掘り起こし、職員手作りによる特大の、焼スギの鉢に移植し、玄関に設置した。

その木に職員が思い思いのデコレーションを施し、そして家庭に眠っていた色とりどりの豆電球を持ち寄り、チェーンにして取り付けた。

タイマーを用い、夕刻に点滅するようセットし、ベニヤ板にペイントした「サンタクロース」を寄り添うようにして置いた処、新聞に大きく取り上げられ、そして、通りがかりの人や、子供達が訪れるようになり営林署のイメージが変わった、親しみ易くなったと大変喜ばれました。

又今までは切り捨てられ、日の目を見ることの無かった「スギ幼令間伐木」をクリスマスツリー用として活用しては、とのアイデアにより、保育間伐の時期を十二月初旬と早め、鉢の代替として端材を輪切りにした台を付け、町民にプレゼントを呼びかけた処、プレゼント当日は、整理券を発行する程の大きな反響となり、瞬く間に無くなりました。



又、プレゼントを受けた近くの保育園児が御礼と激励の為に庁舎を訪れ、私達職員を喜ばせ、今後の励みになりました。



2. 紅葉狩り

地域住民の理解を、より深めようとの狙いのもとに、年代を超え

た紅葉狩りを計画したところ、参加人員はナイジェリアよりの研修生を含め、計69名にもなり、予定した営林署のバス2台に乗り切れず、別に一台を用意するほどの盛況となった。

参加された方は、現地で茸狩りをし、分収育林地の間伐状況を見てもらい、昼には職員手作りの豚汁をサービスし、交流を深めた処緑の大切さが理解できた、国有林の認識を新たにしたり、又お願いします、との声をたくさん戴きました。

3. 外人記者及び留学生と交流

職員の国際的な視野と人的な交流を求め、アメリカより女性記者を招いております。

遠来のアメリカ人記者は、当署の配慮により秋田の国有林を見ることができたと、大いに満足して帰っております。



日本の森林、林業及び日本文化に対しても良いイメージを持たれたようで、日米摩擦の解消にいくばくかでも役立つ事を祈っております。



又、ナイジェリアより訪れた留学生を、ブナウォッチングに招待した処、親しい触れ合いの場ができ、国際感覚を、肌で感じる事ができました。



4. 産業祭への参加

鷹巣町の大きな行事の一つである産業祭には森林組合と共に参加し、会場には模擬森林を作り上げ、動物の剥製を配し、工夫を凝らしながら森林の中に居るような雰囲気、目を引き付けると共に、分収

育林のコーナーではPRに努めた処、たくさんの問い合わせを戴いております。

5. 大太鼓の館へ材鑑を展示

遠来より来訪された方の、旅の疲れを癒すのと、国有林の理解を願ひ、鷹巣町観光の目玉である大太鼓の館正面玄関に、天然秋田スギの材鑑を展示し、観光の手助けと、木材の素晴らしさを誇示しております。



6. 森林フォーラム．木の文化を語るへ参加

鷹巣町は、町の基幹産業である林業の振興が町起こしに繋がる、との理解のもとに一般町民へ参加を呼びかけ、二つの会議を開催しております。

いずれも、署長がパネラーとして招かれ、木の文化、木の付加価値をどこまで追及できかを力説し、改めて、森林、林業の価値観が見直されました。



又、地域講演会の講師として署長が招かれ、「地域の森林を活かす方策について」話される等、地域と営林署、行政と営林署との関係がより一層深くなりました。

7. キノコの展示コーナー

秋、職員が現地踏査等で目についたキノコを持ち寄り、署の入り口のカウンターに並べ、図鑑で名前を調べお馴染みのキノコから、こんなキノコまで、と職員や来庁舎の話題になりました。



その他、署前庭の整備、営林局森林の市への参加等がありますが、実施の詳細については、省略致します。

結果

各種イベント、PR活動は何れも地元マスコミに取り上げられ、大変な好評を博し、そして職場に活性化が甦る事になり、地域に親しまれ、信頼される営林署のイメージを定着させ、当署の目標とする開かれた営林署としての評価を向上させることができました。

今後の課題

①. 鷹巣町は木都と言われるだけあり、近在にはたくさんの秀れた木工品があります。

この木工品と、当署職員の手作りによる木工品を署の展示コーナーに展示、「木と森の展示コーナー」として一般の方の来署を促進したいものと検討しております。

②. 国有林のイメージアップを図り、そして効果的な、正しい理解を戴く為、一般向けの解り易い署のパンフレットを作成し、イベント等の集まりで配布したいものと計画をしております。

③. 当署は、町の中心部に在り比較的解り易い所ですが、より解りやすくするため署庁舎前等に手作りの看板、案内板を設置し、来訪の方の目印にしたいものと願い、冬期特定事業により作成することにしております。

④. その他として、木製のアドバルーンを上げ、PRに使うことや、森林の紅葉等、色の違いによる巨大な絵を実現させるという構想が有りますが、予算面、技術面、敵地等を含め、可能性を検討中です。

最後に

これは、アメリカの有る雑誌のコピーです。

ゴルフのクラブの広告ではありません。なんと国有林の山火事防止の広告なのです。

この広告を大きくして見ます。



「木が無いと木材は無い、（ゴルフのウッ드의クラブと書かれている）」

柿の木で出来たドライバーを握って見て下さい。

ジョーンズ、ニールソン、ハガンのように。

その素晴らしさを感じて下さい。

その正確さとパワーを、木が無いと木材ウッ드의クラブが無いと言う事を覚えて下さい。

そして、あなただけが山火事を防止出来るのです。

